

シンフォニアテクノロジーが新しい上下水道監視制御システム「SELMMC-N1」に、64 bit ネイティブ Windows 10 対応 .NET 版の SL-GMS を採用:

高性能なリモート/Web 運用などの豊富な機能と柔軟性を、SL-GMS で開発されたグラフィック操作画面とシステム固有のカスタムエディタが支援



2021年3月25日 ニュースリリースより

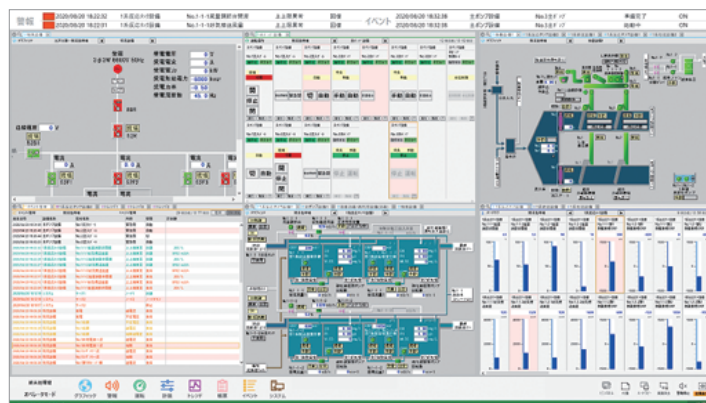
SL ジャパンは、創業 100 年以上に至って「一歩先を行く技術」を追求してきたシンフォニアテクノロジー株式会社（以下「シンフォニア」）が新たに開発した上下水道監視制御システム「SELMMC-N1」で、Microsoft .NET ベースの 64 bit 版 SL-GMS を採用していると発表しました。

シンフォニアが長年培ったノウハウとシミュレーション技術を融合した新しい上下水道監視制御システム「SELMMC-N1」では、顧客のさまざまなニーズに応え、使いやすさにこだわったグラフィック操作画面とシステム固有のグラフィックエディタを、64 bit ネイティブ Windows 10 版の SL-GMS Developer for .NET と Custom Editor for .NET を使って開発されています。

これまでの SELMMC シリーズの使いやすさを継承し、さらに利便性や機能を向上している操作画面は、プラント状況をリアルタイムにグラフィック表示する系統図をはじめ、機器操作や設定などのミニパネル表示、計測値の変化や機器の運転状況を表示するトレンドグラフ、グラフィック編集機能（カスタムエディタ）などが、SL-GMS で開発されています。さらに、比類なくコンパクトで高速な SL-GMS と専用回線により、監視室と同等の監視制御機能を Web やリモートで提供することが可能で、いつでも離れた場所でも、パソコンの他タブレットやスマートフォンからも、プラントの状況を確認でき、保守維持管理の省力化をサポートします。

☆ニュースリリース全文はこちら: https://www.sl-j.co.jp/newsevents/newsrelease/2021/sl_j_news_210325.shtml

(事例より) グラフィック系統図画面や計器パネル画面などを分割表示:



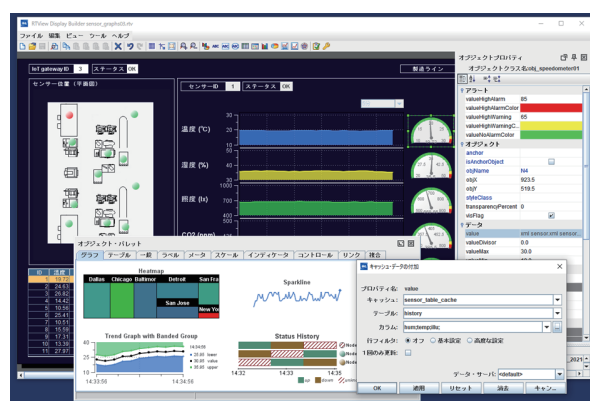
RTView 新バージョン 7.3 リリース

IoTデータのリアルタイムなグラフィック可視化と監視ダッシュボード構築ツールの強化

2021年3月17日 ニュースリリースより

SL ジャパンは、IoT などリアルタイムデータの可視化と監視ダッシュボード構築ツールである RTView の新バージョン 7.3 をリリースしました。

RTView は、データベースなどのミドルウェアに集約される、複数の工場やビル、データセンターなどからのさまざまな IoT データを容易に可視化して一元監視できるダッシュボード構築ツールです。JDBC 対応の SQL データアダプタなどによってすぐにリアルタイムデータに接続でき、ポイント&クリックで簡単操作のビルダーを使って、サービスやオペレーションに応じて自在にカスタム構築できます。そして作成した監視ダッシュボードは、RTView のディスプレイサーバによって Web ブラウザ運用でき、パソコン、タブレット、スマートフォンから職務役割別に閲覧操作が可能で、シンクライアントながらもリッチクライアント以上にコンテンツリッチな高対話性のダッシュボードを実現できます。



RTView のビルダーを使って、ダッシュボード画面をポイント&クリック操作でカスタム構築: 新 V7.3 では、パレットの HTML5 オブジェクトのデフォルトスタイルがフラットデザインに変更

RTView 新バージョン 7.3 では、Red Hat Enterprise Linux 8 と AdoptOpenJDK 8 ならびに 11 をサポート追加、製品に含まれるデモサーバを Tomcat 8.5.61 にアップグレード、Oracle 19c, PostgreSQL 12, SQL Server 2019, MySQL 8.0 のサポート追加、パレットオブジェクトのデフォルトスタイルをフラット化に変更などに対応しています。

☆「RTView ビルダーでカスタム監視ダッシュボードを構築」デモビデオ (3分21秒):

https://www.sl-j.co.jp/demovideo/ertv_demovideos_new.shtml?id=RTView_Builder

比類なくコンパクトで高速な HTML5 コードに変換して Web 運用できる SL-GMS Web/Developer の新 V2.0a をリリース

従来の SL-GMS (C++, Java, .NET) 製品で開発した制御システムのグラフィック操作画面を
Web 運用の他、新 V2.0a ではより広範な監視ダッシュボードの開発も支援強化

2021年4月1日 ニュースリリースより

リアルタイムデータのグラフィックな可視化と監視で業界をリードする
SL ジャパンは、HTML5 対応の新製品として昨年9月に発売した
SL-GMS Web/Developer の新バージョン 2.0a を、3月末にリリース
しました。

従来の SL-GMS 製品 (C++, Java, Microsoft .NET 版) と同じ
SL-GMSDraw エディタで作成した監視制御システムのグラフィック
操作画面を、コードジェネレータを使って比類なくコンパクトで高速
な HTML5 コードに変換し、Web ブラウザでクラウド運用することを
可能にした新製品です。これにより、制御室と同じ高対話性の
グラフィック監視画面を Web ブラウザでクラウド運用でき、ローカル
運用と同等の高い性能で、異種 OS パソコンの他、スマートフォン
やタブレットなど幅広い端末からアクセスして操作できます。



今回リリースした新バージョン 2.0a では、JavaScript (HTML5) の組み込み動的グラフ (トレンドグラフ、棒グラフ、円グラフ) とテーブルが追加
されており、複数現場における制御システムからの IoT データを集約して一元監視するダッシュボードの開発も支援強化します。その他、
変換できる .NET コントロールの追加、アルファチャネルモデル変換の対応、実行時にオブジェクトを動的にインスタンス生成、path move
動的属性のサポートなどが、新 V2.0a の拡張内容として含まれます。

☆新デモビデオ「SL-GMS Web/Developer (HTML5) で IoT 監視ダッシュボードを開発」(1 分 10 秒) :

https://www.sl-j.co.jp/demovideo/slgms_demovideos.shtml?id=webdev_IoT_demo

HTML5 版 SL-GMS 新製品 ライブ Web セミナ [事前登録制・無料] 開催のご案内

「制御システムの可視化における開発・運用動向

～ 中央制御室からリモートモニタリング、HTML5 でクラウド運用まで」

昨秋に開催された第22回 ARC ジャパンフォーラム(オンライン)での講演ならびに月刊「計装」
2020年12月号で掲載された執筆記事より、事例とデモを交えてご紹介してまいります。

■日時: 2021年6月18日(金) 16:00~17:00 [15:30 より接続を確認可]

■講演: SL ジャパン 代表取締役社長 羽島 良重 (はしま よしえ)

講演者紹介は、第22回 ARC ジャパンフォーラムのサイトでご覧いただけます:

<https://www.arcweb.com/arc-japan/arc-industry-forum-tokyo/tokyo2020>



さまざまな SL-GMS ユーザ事例から、監視制御システムの開発と運用動向について、可視化という観点からまとめます。外部クラウドでリモート
運用している .NET 版 SL-GMS のデモにより、制御システム (DCS/SCADA) でよく実装される監視機能をご覧いただく他、実際にグラフィック
操作画面を対話的に作成し、HTML5 に変換してクラウド運用する開発工程とともにご紹介します。

■事前登録はこちらの 세미나 サイトから:

https://www.sl-j.co.jp/newsevents/html5_webinar2021.shtml

お申し込みは、「6/18 SL-GMS セミナ申込/貴社名/ご所属/お名前/
ご住所/お電話番号/メールアドレス」をご明記の上、
sl-seminar@sl-j.co.jp までメールでも承っております。

☆参考資料: 月刊「計装」2020年12月号掲載記事

「スマート可視化(HMI)の実現～HTML5で制御室からクラウドへ」

https://www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2020/sl_j_press_201112.shtml



Real-Time Visibility

年3回発行 2021年5月25日発行 通巻69号



株式会社 SL ジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山3-8-5 アーバンプレム南青山 3階
Tel. 03-3423-6051 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。